

**令和8年度 後期 新潟県立高田南城高等学校 通信制課程 普通科
転入学・編入学募集要項**

1 出願資格

新潟県内に住所を有する者、新潟県に近接する県に住所を有し、新潟県内に勤務地がある者、その他、特別な理由により本校の通信教育を受けることが適当な者

(1) 転入学

出願時に高等学校に在籍している者

(2) 編入学

ア 出願時に中等教育学校後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部に在籍している者

イ 令和8年4月に高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校及び特別支援学校高等部に在籍していたが、それ以降に中途退学した者

2 募集人数

若干人

3 出願書類

下の出願書類の②、⑥は本人が用意し、①、③、④、⑤は学校に作成を依頼すること。

	転入学	編入学	
		出願資格ア	出願資格イ
①	生徒の転学について（照会）		
②	転入学願書 ※1	編入学願書 ※1	
③	在学証明書	在学証明書	
④	調査書（本校所定の様式）		
⑤	教育課程表（校名、入学年度、学科等がわかるもの）		
⑥	返信用封筒1（角形2号に490円分の切手を貼る。受検票および連絡文書発送用） 返信用封筒2（角形2号に530円分の切手を貼る。受検結果通知発送用） ・封筒1・2は無地の封筒を使用する。 ・封筒1・2には志願者本人の郵便番号、住所、氏名を明記する。 アパート・マンション名・部屋番号まで記入する。 ・組み合わせた切手の合計枚数は3枚以内とする。		

※1 願書には、令和8年7月以降撮影の顔写真3枚（たて4cm×よこ3cm）を貼付する。写真の裏面には志願者の氏名を記入すること。

※高等学校卒業程度認定試験に合格した科目があり、本校で生かしたいと考えている場合は、科目合格証明書(写)を提出すること。本校の規定の範囲内で、単位として認められる場合がある。（出願時以外の提出は一切受理しない。）

4 出願期間

令和8年7月29日（水）午前9時から7月30日（木）午後4時まで
受付時間は午前9時から正午まで、及び午後1時から午後4時まで
郵送の場合は、令和8年7月30日（木）午後4時までに必着

5 出願手続

(1) 転入学志願者

「転入学願書」に必要な事項を記入し、「顔写真」を貼付した上、「返信用封筒」を添えて、在籍している高等学校長に提出すること。出願は、すべて在籍校が郵送（簡易書留）または、持参

により行う。出願書類を入れた封筒には「通信制課程転入学出願書類 在中」と朱書すること。

- (2) 編入学志願者のうち、中等教育学校後期課程、高等専門学校、特別支援学校高等部に在籍している者

「編入学願書」に必要事項を記入し、「顔写真」を貼付した上、「返信用封筒」を添えて、在籍している学校の校長に提出すること。出願は、すべて在籍校が郵送（簡易書留）または、持参により行う。出願書類を入れた封筒には「通信制課程編入学出願書類 在中」と朱書すること。

- (3) 編入学志願者のうち、高等学校等を中途退学した者

調査書（本校所定の様式）と教育課程表は、在籍していた学校に発行を依頼する。退学後5年を超えたことにより、調査書の発行ができない場合は「単位修得証明書」の発行を依頼すること。出願書類は、志願者本人が郵送（簡易書留）または、持参により行う。出願書類を入れた封筒には「通信制課程編入学出願書類 在中」と朱書すること。

なお、出願後、受検を辞退する場合は、(1)、(2)の志願者については在籍校が、(3)の志願者については本人が、速やかにその旨を本校へ連絡すること。

6 受検票・連絡文書の発送について

受検票・連絡文書は簡易書留で発送する。8月16日（日）までに到着しない場合は、志願者が8月17日（月）に本校へ電話で連絡すること。

7 選抜方法

出願書類および「面接の結果」等を資料とし、総合的に審査して行う。

8 面接・受検結果通知

(1) 面接について

①面接は、令和8年8月19日（水）または8月20日（木）のうち、本校が指定した日時で実施する。日時の変更はできない。日時、持参するもの等については志願者に文書で連絡する。

②志願者が20歳未満の場合は、保護者等（父母等）が同席して行う（令和8年10月1日現在の年齢とする）。

(2) 受検結果通知について

受検結果通知等は、志願者あてに令和8年8月28日（金）までに、簡易書留で発送する。

9 出願書類の交付について

志願者は、在籍校で受け取る。中途退学した志願者は前籍校から受け取る。なお、本校ホームページから所定用紙のダウンロードができる。印刷はA4サイズ（白）の用紙に片面印刷をする。

10 問い合わせ先

新潟県立高田南城高等学校 通信制課程
電話 025-524-0523（直通）

※

—

転入学願書（通信制課程）

令和 年 月 日

新潟県立高田南城高等学校長 様

志願者氏名

保護者氏名

貴校に令和8年度後期転入学を志願いたします。

ふりがな				年	満	歳
氏名	昭和・平成 年 月 日生			齢	(R8.10.1現在)	
現住所	〒 — ・自宅電話番号 () — ・本人の携帯電話番号 () —					
出身中学校	昭和 平成 年 月 令和			中学校 卒業		
在籍校	平成・令和 年 月 全日制・定時制・通信制 課程 (いずれかに○)			高等学校 入学 科 第 学年在籍		
保護者 現住所	〒 — 連絡先電話番号 () —					
◎ 本人 勤務 先	名称					
	所在地	〒 — 勤務先電話番号 () —				

のりしろ

のりしろ

のりしろ

令和8年7月以降撮影の顔写真3枚
(たて4cm×よこ3cm)の裏面に、氏名を
書き、一部分をのりづけして貼る。

◎本人勤務先の欄は、新潟県に近接する県に
住所を有し、新潟県に勤務先がある場合のみ
記入すること。

作成上の注意

- (1) ※以外の欄に必要な事項を記入する。
- (2) 元号は該当するものを○で囲む。
- (3) 「全日制・定時制・通信制」は該当するものを○で囲む。
- (4) 記載事項を訂正した場合は、訂正印を押印する。
- (5) 保護者の連絡先電話番号は、必ず日中に連絡のとれる電話番号を記入する。
- (6) 所定の場所に令和8年7月以降撮影の顔写真を3枚貼る。

※

編入学願書(通信制課程)

令和 年 月 日

新潟県立高田南城高等学校長 様

志願者氏名

保護者氏名

印

貴校に令和8年度後期編入学を志願いたします。

ふりがな			
氏名	昭和・平成 年 月 日生		年 満 歳 齢 (R8.10.1現在)
現住所	〒 - ・自宅電話番号 () - ・本人の携帯電話番号 () -		
出身中学校	昭和 平成 年 月 令和	中学校 卒業	
在籍校 退学者は 最終在籍校	平成・令和 年 月	学校 入学	科 第 学年在籍・退学 (いずれかに○)
退学者は退学日を 記入してください	平成・令和 年 月 日 退学		
保護者 現住所	〒 - 連絡先電話番号 () -		
◎ 本人 勤務 先	名称		
	所在地	〒 - 勤務先電話番号 () -	

のりしろ のりしろ のりしろ

令和8年7月以降撮影の顔写真3枚
(たて4cm×よこ3cm)の裏面に、氏名を
書き、一部分をのりづけして貼る。

◎本人勤務先の欄は、新潟県に近接する県に
住所を有し、新潟県に勤務先がある場合のみ
記入すること。

- 作成上の注意
- (1) ※以外の欄に必要事項を記入する。
 - (2) 元号は該当するものを○で囲む。
 - (3) 「全日制・定時制・通信制・後期」は該当するものを○で囲む。
 - (4) 記載事項を訂正した場合は、訂正印を押印する。
 - (5) 20歳未満の志願者は、保護者現住所欄を記入する。
 - (6) 保護者の連絡先電話番号は、必ず日中に連絡のとれる電話番号を記入する。
 - (7) 所定の場所に令和8年7月以降撮影の顔写真を3枚貼る。

第 号
令和 年 月 日

新潟県立高田南城高等学校長 様

学 校 名 _____ 高等学校

校長氏名 _____

生徒の転学について（照会）

このことについて、貴校通信制課程に転学を希望する旨、願い出がありましたので、相当学年に転入学を許可くださるよう、下記の書類を添えて照会いたします。

記

1 転学希望者

ふりがな
氏 名 _____ (男・女)

昭和
生年月日 平成 年 月 日

_____ 課程 科 第 学年

転学希望理由（詳細に記入）

2 添 付 書 類

- | | |
|------------|-----|
| ① 転入学願書 | 1 通 |
| ② 調査書 | 1 通 |
| ③ 在学証明書 | 1 通 |
| ④ 教育課程表（写） | 1 通 |
| ⑤ 返信用封筒 | 2 通 |

Word 形式が必要な場合は
ホームページよりダウンロードする

調 査 書 (令和 8 年度)

新潟県立高田南城高等学校通信制提出用

(別紙記入例・記入上の注意を参照してください)

ふりがな 氏名		性別		生年 月日	昭和 平成	年	月	日生	年 齢	令和8年10月1日現在 満 歳	
現住所	〒 _____										
入学	平成・令和 年 月				学校	分校	課程	科	入学		
転・編入学	平成・令和 年 月				学校	分校	課程	科			
休学	平成・令和 年 月 日 から 平成・令和 年 月 日										
退学	平成・令和 年 月 日										

各教科・科目の学習の記録										出欠の記録			
教科 科目名	科目名	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		科目の 修得単位数	学年	欠席日数	欠席の主な理由
		評定	修得単 位数	評定	修得単 位数	評定	修得単 位数	評定	修得単 位数		1	日	
国 語											日		
地 理										2	日		
歴 史										3	日		
公 民										4	日		
数 学										指導上参考となる諸事項 (必ず記入すること)			
理 科										備考 (ない場合は「特記事項なし」と記入する)			
体 育													
健 育													
芸 術													
外 国 語													
家 庭													
情 報													
そ の 他													
そ の 他													
そ の 他													
総合的な探究の時間													
修得単位数		第1学年合計	第2学年合計	第3学年合計	第4学年合計	全学年総計							

記載責任者

この調査書の記入事項に誤りのないことを証明する。

令和 年 月 日

学校名 _____

所在地 〒 _____

校長名 _____



記入例

調査書 (令和〇年度)

新潟県立高田南城高等学校通信制提出用

(別紙記入例・記入上の注意を参照してください)

ふりがな 氏名	みなみしろ はなこ 南城 花子		性別	女	生年 月日	昭和 平成 ○年○月○日生	年齢	令和〇年10月1日現在 満 ○ 歳
現住所	〒 943 - 0837 上越市南城町3丁目3-8							
入学	平成 令和 ○年 4月 新潟県立○○高等 学校 分校 全日制課程 総合学科 入学							
転・編入学	平成・令和 年 月 学校 分校 課程 科 学年に 転入学・編入学							
休学	平成・令和 年 月 日 から 平成・令和 年 月 日							
退学	平成・令和 年 月 日 ←退学による編入学者のみ記入							

教科名	科目名	各教科・科目の学習の記録								出欠の記録		
		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		学年	欠席日数	欠席の主な理由
		評定	修得単位数	評定	修得単位数	評定	修得単位数	評定	修得単位数	1	2	3
国語	現代の国語	2	2							2		
	言語文化	3	2							2		
	論理国語			1	0					0		
	古典探究			3	2					2		
地理歴史	地理総合	3	2							2		
	歴史総合	3	2							2		
	地理探究			3	4					4		
数学	数学I	2	4							4		
	数学A	3	2							2		
	数学II			3	4					4		
理科	物理基礎			2	2					2		
	化学基礎	3	2							2		
	生物基礎			3	2					2		
体育保健	体育	3	3							3		
	保健	3	1	3	1					2		
芸術	美術I	3	2							2		
外国語	英語コミュニケーションI	3	3							3		
	英語コミュニケーションII			2	4					4		
	論理・表現I	3	2							2		
家庭	家庭基礎			1	0					0		
情報	情報I	3	2							2		
その他	教養国語			3	2					2		
総合的な探究の時間			1		1		0			2		
修得単位数		第1学年合計		第2学年合計		第3学年合計		第4学年合計		全学年総計		
		30		22		0				52		

指導上参考となる諸事項 (必ず記入すること)

履修したが修得できなかった科目は、評定欄に「1」、修得単位数欄に「0」を記入してください。
出席時数不足等により履修が成立しなかった科目は記入しないでください。

備考 (ない場合は「特記事項なし」と記入する)

論理国語 2単位履修
家庭基礎 2単位履修

代替科目がある場合はここに記入する
例：情報Iは「工業情報処理」2単位で代替

通信制課程に在籍、または在籍したことがある場合、特別活動の出席時数をここに記入する。

各学年ならびに全学年の修得単位数の総計が0の場合も、各欄には「0」を記載してください。

記載責任者 ○○ ○○

この調査書の記入事項に誤りのないことを証明する。

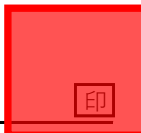
令和 ○年○月○日

学校名 新潟県立○○高等学校

所在地 〒 ○○○-○○○

新潟県 ○○市○○○ ○丁目○番○号

校長名 ○○ ○○



〈調査書 記入上の注意〉

※ 調査書の Excel 形式が必要な場合はホームページよりダウンロードする。

◎氏名：姓が代わった場合は、現在の姓に続けて（ ）をつけて記入する。

（例：現在鈴木で、旧姓佐藤の場合 鈴木（佐藤）一郎）

◎現住所：願書と同じ住所を記入する。

◎入学：貴校に新1年生として入学した年月、校名（分校名）、課程、科を記入する。

当該生徒に前籍校がある場合は、前籍校に入学した年月、校名（分校名）、課程、科を記入する。

入 学	平成 令和 ○ 年 4 月	新潟県立○○高等 学校（△△ 分校）	全日制 課程	総合学 科	入学
転・編入学	平成・令和 年 月	学校（ 分校）	課程	科	
	学年に 転入学・編入学				

◎転・編入学：貴校へ転・編入学した年月、校名（分校名）、課程、科を記入し、転入学・編入学のいずれかに○をつける。

入 学	平成 令和 ○ 年 4 月	新潟県立■■■高等 学校（ 分校）	全日制 課程	普通 科	入学
転・編入学	平成 令和 ○ 年 4 月	新潟県立○○高等 学校（ 分校）	全日制 課程	普通 科	
	2 学年に 転入学 ・編入学				

（前籍校が2校以上ある場合、備考欄に記入する）

◎休学：貴校で休学した期間を記入する。

◎退学：貴校を退学した日付（在籍最終日）を記入する。

◎各教科・科目の学習の記録：高校入学年度から現在までについて記入する。前籍校がある場合は、前籍校分も合わせて記入する。

- 1 科目名は、当該生徒が履修・修得した科目を記入する。
- 2 評定は5段階評定とする。観点別学習評価は記入不要。
- 3 各科目の評定ならびに修得単位数について、学年ごとに記入する。
- 4 各科目の修得単位数の計、ならびに各学年の修得単位数の総計を記入する。
- 5 高等学校卒業程度認定試験で修得した科目は、評定欄に「高認」と記入する。
大学入学資格検定で修得した科目は、評定欄に「大検」と記入する。
- 6 「その他」欄には、専門教育に関する科目及び学校設定教科に関する科目について記入する。
（教科名は記入不要）
- 7 学年の修得単位数が0の場合、当該学年の「修得単位数（学年合計）」に「0」を記入する。
- 8 履修は成立したが修得できなかった科目は、評定欄に「1」、修得単位数欄に「0」を記入する。さらに、備考欄にその科目の履修単位数を例のように記入する。
（例：現代の国語 2単位履修）

出席時数不足等により履修が成立しなかった科目は記入しない。

※ 「履修が成立する」とは評定が「1」となったことをいう。

9 代替科目がある場合は、備考欄にその旨を記入する。

(例：情報Ⅰは、「情報処理」2単位で代替)

10 「総合的な探究の時間」欄には、在籍していた学年について修得単位数を記入する。修得した単位がない場合は「0」を記入する。

11 「全学年総計」欄には、修得単位数が0の場合は、「0」を記入する。

◎出欠の記録：欠席日数に休学・出席停止は含めない。理由は簡潔に記入する。

◎指導上参考となる諸事項：当該生徒の学習状況、行動及び性格の所見等について必ず記入する。

◎備考：備考欄には、以下の内容について記載する。

①前籍校が2校以上ある場合

「転編入学」欄には、貴校について記入し、ほかに前籍校がある場合について次のように記入する。

(例) 令和〇年4月、新潟県立△△高等学校全日制課程普通科へ転学

②履修は成立したが修得できなかった科目があった場合

③代替科目がある場合

④原級留置により同一学年に2回以上在籍していた場合

例：令和5年度は第1学年に在籍、令和6年度は原級留置して第1学年に在籍、令和7年度第2学年に在籍して転学希望の場合

「第1学年」の欄に、令和5年度の在籍時のことについて記録

「第2学年」の欄に、令和6年度の在籍時のことについて記録

「第3学年」の欄に、令和7年度の在籍時のことについて記録

備考欄に、「**第2学年には、令和6年度第1学年について、第3学年には、令和7年度第2学年について記載**」と記入

記入が難しい場合は、例にこだわらず、分かるように記載をお願いします。

⑤通信制課程に在籍、または在籍したことがある場合、特別活動の出席時数を記入する。

例：特別活動〇〇時間

⑥その他、学習活動等について補足がある場合

【提出にあたってのお願い】

1 本調査書は、提出時に貴校での成績等が確定しているものを提出してください。提出後の変更は認めません。

2 校長の職印を押印願います。

3 出願後に内容について問い合わせをすることがあります。送付する際、コピーを取り、控えておいてください。

4 入学許可後、生徒指導要録を提出する際、この調査書の内容と一致していることを確認してください。

学校案内 新潟県立高田南城高等学校 通信制課程（普通科）

通信制課程は、自学自習を基本として、自分のペースに合わせて学習するシステムです

1 通信制って、どんな学校？

通信制課程の高等学校を卒業するための要件は、以下のとおりです。

- ①高等学校等に3年以上在籍していること
- ②修得単位が74単位以上であること（総合的な探究の時間3単位を含む）
- ③特別活動の出席時数が30時間以上であること

(1) 通信制課程では、自学自習を基本として、以下のように学習を進めて単位を修得し、卒業を目指します

①報告課題（レポート）

学校から配付されたレポートに自分の力で取り組み、期限までに提出します。提出されたレポートは先生方が添削して返送します。多くの科目では定期試験の範囲にもなります。単位修得のためには、科目ごとに定められたレポートを提出期限までに全て提出し、合格することが必要です。

②面接指導（スクーリング）

自分が選択した科目について、登校してスクーリング（授業）を受けます。日曜または火曜に実施します。単位修得のためには、科目ごとに定められた義務時数（単位修得のために最低限出席しなければならない時数）以上のスクーリングに出席することが必要です。

※放送視聴…NHK「高校講座」を活用した学習活動。番組を視聴して「視聴報告書」を提出し、内容が適切である場合は、義務時数の一部に代替することができます。（事前申込が必要。放送視聴が利用できない科目もあります。）

③定期試験

年2回実施します。レポートを提出・合格し、かつ、スクーリングの義務時数以上を出席した科目について受験できます。

レポートの評価、スクーリングの取り組み、試験の得点を総合的に評価し、規定以上の成績を収めると単位が認定されます。

※修得単位数には、前籍校や高校卒業程度認定試験で修得した科目の単位も含むことができます。いずれも、出願時に申し出が必要です。

(2) 本校では、通常スクーリング以外にも、生徒のニーズに合わせた登校機会を設けています（通学コース）

①サポート Day（水曜日）※自由参加で事前登録不要です。

レポートを、「サポーター（上越教育大学大学院生）」に質問、相談しながら取り組むことができます。

②Mスクーリング Day（木曜日）※履修登録が必要です。

学校設定教科「Mキャリア」（選択科目）を実施します。各科目、スクーリングの出席、レポートの合格により単位を修得できます。

ア Mベーシック…中学校での国語・数学・英語の学び直しを行います。

イ Mプログレス…通常のスクーリングでは扱えない発展的な内容や演習を行います。（英語必修、国語・数学から1科目選択）

ウ Mキャリア探究…自分の生き方やあり方、将来の進路について理解を深めます。

(3) 本校では、単位制を採用しています

3年以上在籍し、卒業に必要な科目を履修し、74単位以上修得すれば、卒業要件を満たします。原級留置（留年）はありません。（※自動的に3年次まで上がり、3年次で卒業要件を満たせば卒業。以降、卒業要件を満たすまで、4年次を繰り返します。）

(4) 修業年限はありません

卒業要件を満たすまで修業年限はありませんが、次年度に学習活動を行うためには、年度末に履修手続きを行う必要があります。正当な理由がなく3年間履修手続きをしなかった場合は、退学になります。

2 通信制の学校生活

(1) 自学自習と自己管理

通信制課程の学校生活では、レポート提出やスクーリングの出席、単位の修得状況などを自分で管理します。担任のアドバイスや指導を受けながら、目的意識をしっかりと持ち、主体的・計画的に学習に取り組む態度と自分の信念を貫く強い心構えが必要です。

毎月「月報みなみしろ」とともに連絡文書を送付します。これらの文書で学校行事や定期考査の申込等の連絡もするため、生徒は必ず目を通さなければなりません。

(2) 学校生活を送る上でのきまり

本校では、本校の生徒としての自覚を持ち、集団生活を送る上でのルールやマナーを守るように指導しています。制服はありません。詳細はホームページ（生徒指導における注意事項）をごらんください。

(3) スクールカウンセラーについて

教育相談担当のスクールカウンセラーが週3日常駐し、生徒の相談に対応します。

3 経費・公的支援について

(1) 入学時に必要な経費について（令和7年度入学生の場合）

- ①入 学 料 5 0 0 円
- ②授 業 料 約 1 0, 0 0 0 円（1単位当り330円、受講科目の合計単位で決定します）
- ③諸 経 費 3, 8 0 0 円（生徒会入会金、生徒会費、学校行事費、教材費など）
- ④シューズ代 4, 3 0 0 円
- ⑤書 籍 費 約 1 5, 0 0 0 円（教科書・学習書代）

上記金額を入学する際に一括前納していただきます。詳しくは、受検結果通知時に文書でお知らせします。

(2) 主な公的支援について（条件あり）

- ①就学支援金が受給できます。
- ②奨学のための給付金が受給できます。
- ③教科書代金の還付制度や定通修学奨励金制度が利用できます。

◎通信制課程について、詳しい内容を知りたい場合は、ホームページも参照ください。

ホームページアドレス <https://takadammsr-h.nein.ed.jp/>

（「通信制」のページへアクセスしてください）